

津波から安全に避難する心得

1. 地震後はすぐに避難

大きな地震の後には、必ず津波が発生すると考えましょう。震度が小さく、ゆっくりとした揺れが長く続く地震にも注意が必要です。情報を待つより先に、まずは避難しましょう。



2. 避難は「遠く」よりも「高く」に

避難は、時間との戦いです。遠くに避難するよりも、近くにある鉄筋コンクリート造りなどの高い建物の上階に避難しましょう。



3. 避難は徒歩で

車による避難は渋滞を引き起こし、一刻を争う津波からの避難には、かえって危険です。



4. テレビ・ラジオなどで正しい情報を

避難後は、うわさや間違った情報に惑わされず、テレビ・ラジオなどで、津波の警報や注意報などを入手。正しい情報に基づいて行動しましょう。



5. 海辺や川べりには近付かない

地震の後には、護岸や堤防が崩れる恐れがあり、海辺や川べりは非常に危険です。



6. 地域での協力が大切

避難のときには隣近所にも声を掛け合い、みんなでけがや病気の人の手助けを行うなど、地域で協力し合う避難を心掛けましょう。事前の訓練をしておかないと、うまく実施できません。



7. 水が引いても勝手に戻らない

津波は何度も襲ってきます。警報や注意報が解除になるまで、避難場所などにとどまりましょう。

